

北東アジア交流プロジェクト in 金沢2003

Northeast Asia Exchange Project in Kanazawa2003 とき 平成15年5月13日(火) ところ 石川県立音楽堂邦楽ホール

入場
無料

北東アジア交流プロジェクトは、北國新聞社をはじめ日本海沿岸の地方紙10社が提唱し、関係する11の府県と経済界および住民が一体となって、北東アジア地域との新たな交流促進の道を探るものです。従来からある個々の交流を、点から線、線から面へと拡大していくことで、より実り豊かな交流の成果が生まれると期待されています。「北東アジア交流プロジェクトin金沢2003」では、北陸と北東アジアの関係を文化の視点から検証するとともに、各国の芸能などを披露して交流を深めます。



北東アジア・10紙企画
交流海道2000キロ

主催/北東アジア交流海道2000キロ実行委員会

北東アジア交流プロジェクトin金沢2003実行委員会、石川県、金沢市、石川県商工会議所連合会、北國新聞社

後援/総務省、国土交通省、文化庁、(財)石川県芸術文化協会、金沢青年会議所、テレビ金沢、ラジオかなざわ、ラジオななほ、ラジオこまつ、金沢ケーブルテレビネット

■お申し込み方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、往復はがきでお申し込みください。メール(kcs@nsknet.or.jp)またはファクス(076-262-2618)でのお申し込みでも結構です。折り返し事務局より聴講券を送付します。

>> 締切 5月7日(水)

E-mail >> kcs@nsknet.or.jp

FAX >> 076-262-2618

往復はがき >> 下記宛先まで

■お問い合わせ、お申し込み

株式会社ケイ・シー・エス内「北東アジア交流プロジェクトin金沢2003」事務局
〒920-0961 金沢市香林坊2丁目5番1号(北國新聞会館内)
Tel. 076-224-4141 Fax. 076-262-2618

北東アジア交流プロジェクト in 金沢2003

第1部 金沢シンポジウム



■TimeTable

- 10:00 受付開始・開場
- 10:20 開会 第1部【金沢シンポジウム】
挨拶
- 10:30 基調講演 講師：中嶋 嶺雄氏(国際社会学者・前東京外国語大学学長)
テーマ「文化圏としての北東アジアを考える」
- 11:10 パネルディスカッション
テーマ「北陸の伝統文化と北東アジア」
パネラー：中嶋 嶺雄氏(国際社会学者・前東京外国語大学学長)
小島 美子氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
松田 章一氏(金沢学院短期大学教授)
殿田 謙吉氏(下掛宝生流能楽師)
コーディネーター：稲垣 渉氏(北國新聞社取締役編集局長)
- 12:20 閉会

文化や交易をはじめ、古くから深い関係を築いてきた北陸と北東アジア。その歴史や特徴をたどりながら、21世紀の新しい交流のカタチを探ります。

パネラープロフィール



中嶋 嶺雄氏

国際社会学者、前東京外大
学長、アジア太平洋大学交
流機構事務総長。東京外大卒、
東大大学院国際関係論課程
修了。長野県出身



小島 美子氏

日本民俗音楽学会会長、
文化功労者選考審査会委員、
国立歴史民俗博物館名誉教
授。日本女子大外国語科、東
大国史学科卒。福島県出身



松田 章一氏

金沢学院短大教授、前金沢東
高校長、元金大附属高副校長、
劇作家。金大法文学部卒。石
川県辰口町出身



殿田 謙吉氏

下掛宝生流ワキ方能楽師、重
要無形文化財総合保持者、東
京芸大講師。東京芸大音楽
学部邦楽科卒。金沢市出身

第2部 北東アジア交流音楽祭

平成15年5月13日(火)
石川県立音楽堂邦楽ホール

ロシア、中国、
韓国、モンゴル、朝鮮(在日)と
地元石川の代表的な歌や踊り、
芸能が夢の競演。
言葉の壁を超えて
魂をゆさぶるプログラムを
お楽しみください。

14:30 受付開始・開場

15:00 開演 第2部【北東アジア交流音楽祭】

- 仕舞
舞：渡邊 容之助 / 地謡：玉川 博、寺田 成秀、前田 繁
- 素囃子 金沢素囃子保存会
- 二胡：賈 鵬芳 / ヴァイオリン：金子 飛鳥
- バイカル・カルテット
- 馬頭琴：齊布日 古徳 / 揚琴：郭 敏
- トウルソリ
- 姜 輝鮮 & 朝鮮舞踊団narusoe
- 焔太鼓

18:00 終演

※プログラムは変更となる場合がございます。

出演者の横顔(敬称略)



金沢素囃子保存会(金沢) **素囃子**

金沢素囃子保存会は、昭和53年に結成し、清政期に培われた加賀百万石の粋で雅な伝統芸能を今に受け継いでいる。素囃子は、長唄、常磐津、清元などの邦楽や舞踊から、囃子だけが独立した謡や舞の入らない演奏形式のこと。



渡邊容之助(金沢) **仕舞**

宝生流能楽師で「荀賞會」を主宰するとともに、石川県能楽文化協会専務理事などを務める。仕舞は、能の主要な部分を抜粋し、シテ一人が面も装束もつけずに紋服袴で舞う伝統芸能のこと。

バイカル・カルテット(ロシア) **弦楽四重奏**

94年、イルクーツク市に設立。メンバー全員が国立クラスノヤルスク音楽専門大の出身。ロシアの民俗音楽のほか、クラシック、軽音楽と広いレパートリーを持つ。アジア、ヨーロッパ各地で活躍。



賈 鵬芳(中国) **二胡**

世界的な二胡奏者で、88年からは活動の拠点を日本に移し、中国音楽だけでなく、邦楽、ジャズ、ポップス、ミュージカルなど多方面で活躍。



齊布日古徳(モンゴル) **馬頭琴**

有名な馬頭琴演奏家の家に生まれ、英才教育を受けて育つ。93年「アジア音楽祭」出演。94年の来日以来、各地で演奏活動を行っている。平安建都1200年記念式典で平安讃歌を演奏。



トウルソリ(韓国) **韓国地域芸能**

84年、韓国南部の晋州市の若者が、地域に伝わる芸能を習得し、公演活動を行ったのが始まり。「トウル」は大地、野原、「ソリ」は音、声、唄の意味で、アジア、欧米などでの海外公演も多い。



ヴァイオリン 金子 飛鳥(日本)

4歳でヴァイオリンとピアノを始め、東京芸大卒業後、「飛鳥ストリングス」を結成。ジャンルを超えたしなやかな音楽性、卓越したテクニックに裏付けられた表現力で注目を集める演奏家の一人。



郭 敏(中国) **揚琴**

広州音楽学院で揚琴の奏法を学び、広東民族楽団のソリストとして活躍。87年来日し、演奏活動のかたわら東京芸大で学ぶ。世界のミュージシャンとの共演で揚琴音楽の新しい世界を切り開く。



姜 輝鮮 & 朝鮮舞踊団narusoe(朝鮮〈在日〉)

80年に朝鮮舞踊研究所を設立し、日本国内で広く北朝鮮の舞踊を紹介。毎年、発表会を開くとともに、90年中国、93年アメリカ、95年平壤、99年ウズベキスタンを訪問して公演、好評を博す。

焔太鼓(松任) **太鼓**

松任市を拠点に活動する女性3人の和太鼓グループで、92年結成。地下朱美(じげあけみ)をリーダーに、男性顔負けのパワフルな演奏で活躍。海外公演も多く、和太鼓の魅力を発信。

